会員特典

青色申告会の「葬儀支援サービス」

新たな会費や制度加入手続きは不要です。

制度運営　株式会社 全国儀式サービス　TEL.03-3739-0755

※記載のサービス内容は、状況により変更となる場合がございます。

ポイント1 葬儀費用の負担を軽減

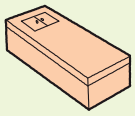
一般的な葬儀に欠かすことのできない品目やサービスを「基本セット」として首都圏平均50万円相当のものを26.4万円（税込）でご提供いたします。

葬儀基本セット（首都圏平均50万円相当）

※首都圏の場合の標準的な品目です。

祭　壇

お　棺



（内装用品・納棺用品）

ご遺影

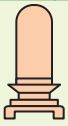
（白黒）

寝台車

病院からの搬送

（車庫から10kmまで）

お位牌



（白木）

ご焼香用品／枕飾り／会葬礼状（100枚）／ご遺体保存用品（ドライアイス1回分）／お清めセット／門標／忌中額／式場内・外装飾用品／見積り係員派遣・諸官庁手続き／

ご注意　式場使用料、会葬返礼品や飲食・料理などの接待費、寺院関係費、火葬料などは基本セットに含まれておりませんので、別途費用が掛かります。

■ 対象者と基本セットご利用料金（首都圏平均50万円相当）

対象者（ご葬儀の対象となる故人さま）	ご利用料金
●会員本人 及び 従業員 ●会員本人 及び 従業員の配偶者・子女 ●会員本人、従業員 及び 配偶者の両親 ●会員本人、従業員 及び 配偶者の祖父母	26.4万円（税込）

＜特別適用＞ ●（会員本人、従業員 及び 配偶者）の兄弟姉妹、おじおば、甥姪、孫、いとこ　33万円（税込）

さらに

くらしの友互助会会員の方は、葬儀費用総額から5万円を差し引きます。　※特別適用者は除く

くらしの友互助会加入者の施行については、儀式サービス特典が優位となる場合を除き、基本的には互助会利用を優先するものとします。
その場合、供花サービスのご提供はございません。
（互助会と一緒に利用した場合のみ）

ポイント2 葬儀に関する不安を軽減

家族葬、宗教・宗派問わずご相談ください。

葬儀に関するお問合せや事前相談だけでもOK!!

●全国儀式サービスコールセンター　24時間・365日対応

フリーコール **0120-421-493**（ヨニイシクミ）

始めに「所属の青色申告会名」をお申しつけください。

ご利用の際は事前に左記の電話番号へご連絡ください。葬儀社とのお打合せ後のご連絡ではご利用になれません。

葬儀支援サービス制度の詳細や全国の加盟葬儀社・斎場検索は、全国儀式サービスのホームページをご覧ください。

全国儀式サービス　検索　制度の詳細閲覧にはパスワードが必要です。

ユーザー名：gishiki　パスワード：パスワードは全国儀式サービス コールセンターにてご確認ください。

“安心”全国ネットワーク

葬儀支援サービスは全国の葬儀社とネットワークを組んでおり、北海道から沖縄まで、厳選した約500の加盟葬儀社、2,700を超える斎場施設で全国をカバーしています。

提携葬儀社トピックス　くらしの友

くらしの友は首都圏を中心に30箇所の直営斎場を運営。高い品質、お客様満足度も高く、おすすめしている提携葬儀社です。

いがいと身近な 仏教用語

挨拶

「挨拶（あいさつ）」は、人に会った時や別れる時などに取り交わす動作や言葉です。挨拶の「挨」は「推しはかる」「近づく」「触れる」、「拶」は「せまる」「切り込む」という意味です。語源は、仏教語の「一挨一拶（いちあいいっさつ）」と言われています。禅宗では、師匠が弟子に問題を出し、その弟子の返答で修行の度合いや悟りの深さを試す「禅問答」をします。これが「挨拶」です。転じて、応答・返礼などの意味に用いられ、出会いや別れの時の親愛の言葉や動作のことをあらわすようになりました。

知ってる？ 仏教由来のあいさつ

●いただきます、ごちそうさま

食事の前後に唱えるこの言葉ですが、実は仏教の教えが由来です。「いただきます」は動植物のかけがえのない命を頂く言葉、「ごちそうさま」は食事などのおもてなしをする為に、食材を求めて走り回り苦労してくれた人に感謝する言葉です。

●ありがとう

仏教の「盲亀浮木（モウキフボク）のたとえ」の説話が語源です。説話の中で、人間に生まれることは「有る」ことが「難しい」、つまり「有り難い」事だと教えられています。ここから他人から何かをしてもらえることは「有り難い」事となり、「ありがとう」となりました。

●あけましておめでとう

「あけましておめでとう」は、無事に年を越すことができ、歳神様（としがみさま）をお迎えできた事が大変おめでたいという気持ちを表す事に由来しています。「めでたい（芽出度い）」という言葉は、「新しい春を迎え芽が出る」という意味を持っています。新しい年の始まりである正月は、春の始まりの「立春」とも考えられており、人々は春の訪れがもたらす生命の誕生を心から喜んだからです。また、「あけましておめでとう」という新年のあいさつは、元々年が明けて歳神様を迎える時に言う祝福の言葉でした。神様への感謝の言葉を人々の間で交わすことにより、心から歳神様を迎えたことを喜びあったと考えられています。

●合掌（がっしょう）

合掌は、サンスクリット語のアンジャリの訳語です。合掌はインドで発祥し、日本には仏教とともに伝わってきました。仏教では右手が仏様の世界、左手が全ての生き物という意味の衆生（しゅじょう）の世界をあらわしており、両手を合わせることで仏様と衆生が一体となるという意味を持ちます。葬儀の際の合掌は、仏様と人間が一体となり、成仏を願う気持ちがあらわされています。食事の際の合掌は、食材となった植物や動物への感謝や食事を作った人、食材を育てた人に敬意をあらわすためのものです。

●会釈（えしゃく）

会釈は、経典に書かれている内容をわかりやすく解釈することを意味する「和会通釈（わえつうしゃく）」という四字熟語が由来です。そこから事情を理解する、という意味に変わり、やがて「儀礼にかなった態度を取る」「愛想よく対応する」という意味に転じていきました。江戸時代になると、現在使われているような「お辞儀」の意味に変わりました。

豆知識 「あいさつ」の由来になった禅問答とは？

禅問答とは禅僧が悟りを開くために行う修行です。師匠が「作麼生（そもさん）」と問い、弟子が「説破（せっぱ）」と答えます。「そもさん」とは「如何に」と言う問いかけで、「せっぱ」は言い破る事、説き伏せる事を意味します。現代風に言い直すと、「問題出すよ」「受けて立とう」というような意味合いになります。「そもさん！」「せっぱ！」と言い合うのは、アニメの一休さんでも有名なやり取りです。

※掲載の内容は諸説の一部を紹介しております。

（株）全国儀式サービス

企業・団体様の福利厚生制度として葬儀に特化した「葬儀支援サービス」を提供しています。「葬儀支援サービス」とは、万一の際に、全国共通の葬儀の基本セットを低廉かつ明瞭な金額でご提供し、電話１本で全国の加盟葬儀社をご紹介させていただく制度です。

葬儀のご手配、
事前のご相談・お見積もり

（株）全国儀式サービス コールセンター 24時間365日対応

全国儀式サービス 検索

フリーコール 0120-421-493（ヨニイシクミ）